

ガダルカナル島 戦艦「比叡」探索 事前調査 (2017 年 3 月 20 日～25 日)

目的

29 年度予定している戦艦比叡の沈没位置の特定（音響機器を用いて探査）を目的としているため、今回はその事前調査として現地に赴き、許認可、技術的可能（日本国大使の協力、ソロモン政府の許可、使用船舶、資機材調達に関する情報収集）かの調査を行った。

結論・・・許認可及び技術的可能かの見通しはたった。

	<p>浦センター長（九州工大）、NPO 池田副理事長、北野メンダナホテル山縣総支配人 沈没位置が複数あるためどこが信憑性あるかとの議論。山縣総支配人の主張（比叡搭乗員と照月搭乗員の証言：戦後慰霊を毎年実施海域）は南東方向のホニアラ港前面の海域（D 地点：水深 500m）</p>
	<p>浦センター長、池田副理事長、山縣総支配人、国立博物館 Lawrence KIKO 氏調査を行うには許可申請が必要。教育省へ提出予定する。 申請は受理OK見込み。</p>

	<p>浦センター長、池田副理事長、山縣総支配人、Captain Judah Kulabule 港長 海図等確認。IronBottomSound 沈没戦艦の特集記事雑誌閲覧 潮位表 (Tide Table) は無いが、電子潮位表 (オーストラリア発行) はある</p>
	<p>木宮日本国大使、浦センター長、池田副理事長、山縣総支配人 AGS 林・渡邊 プロジェクト計画について説明。ご協力は得られる見込み。</p>
	<p>ホニアラ港 キタノメンダナホテルで佐藤さんの紹介を受ける。 備船手配が可能。 資機材等 (車・発電機・金具・溶接・備品・燃料・食品) 手配可能。 キタノメンダナホテル山縣総支配人のご協力は得られる見込み。</p>

ガダルカナル島 現地事前調査（2017年3月20日～25日）



山縣さん 浦先生 木宮大使 池田 渡辺 林



ソロモン政府国立博物館担当ローレンスキコさん



ホニアラ港



サボ島とアイアムボトムサウンド（D地点）



D地点（予想）



ガ島海岸（ホニアラ港近く）